

# 井の頭恩賜公園花便り



カジイチゴ(梶莓)

日本に自生するキイチゴの仲間で、高さは2～3m、茎は直立してよく枝分かれています。花期は4～5月ごろで新しい枝の先に3～5個の白い花(直径3～4cm)を咲かせます。6月頃に実るオレンジ色の果実は食用となり、名前の由来は、葉の形がクワ科のカジノキに似ていることからです。



クサイチゴ(草莓)

高さ20～60cmで樹高が低く、草のように見えるため「草」とつきますが、実際は木です。地下茎が長く横に這い、新苗を出し生命力が強く、刈っても、根から生えてきます。4～5月に白色の直径40mmほどの5弁の花が咲き、花弁は15～20mmです。果実は食用となり、酸味は少なく甘いです。御殿山で群生が見られます。



『花便り』に関するご質問等は井の頭恩賜公園案内所TEL0422(47)6900までご連絡ください。